

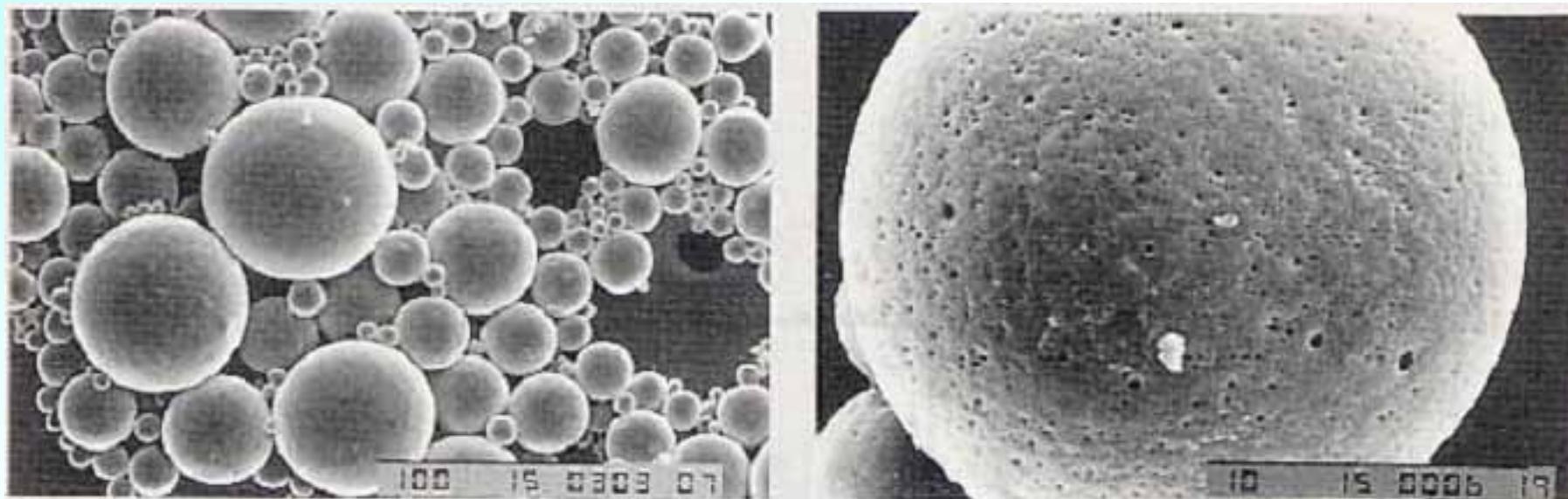
新薬創出力強化と知財戦略

武田薬品工業株式会社
代表取締役社長 長谷川 閑史

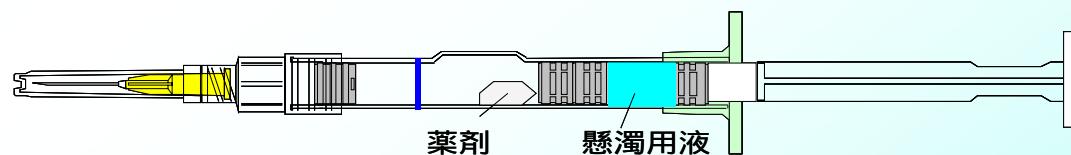


Takeda Pharmaceutical Company Limited 1

Lupron Depot[®] と Dual Chamber Prefilled Syringe



生体内で 1 ~ 6 ヶ月かけて溶解する粒径約 20 ミクロンのマイクロカプセル



特許および製造ノウハウで守っている



Takeda Pharmaceutical Company Limited 2

【製薬産業の新薬創出力強化】

1. 民(企業)は 生き残りに必死

- (1) 自ら新薬を創出できなければ生き残れない 選択と集中/最低限必要な規模
- (2) グローバルの大手企業でも売上げの3~4割は導入/買収品

2. 官(政治・行政)のサポート

- (1) 省をまたがるライフサイエンス予算の集中/効率投下
- (2) バイオクラスター/バイオベンチャー(新薬創出要素技術を有する)の育成
- (3) イノベーションを促進する研究開発税制と薬価制度

【知財面で産業が困っていること】

1. 米・(欧)での特許紛争

- (1) アメリカの先発明主義
- (2) ジェネリックメーカーからの全く難癖に近い挑戦
- (3) ディスカバリー
- (4) 陪審員制度

2. 日本の特許制度を米・(欧)スタンダードに近いものにし

日本企業が米・(欧)で戸惑わないようとする

3. 臨床試験・審査期間の長期化が特許保護期間を侵食

